
2月17日～大嫌い！～

p p

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

2月17日〜大嫌い！〜

【Nコード】

N4444A

【作者名】

pp

【あらすじ】

由希と直紀。2人は両思いのはずだった。しかし、直紀のせいでお互いの気持ちはすれちがい・・・。

星野 由希、6年1組。男女の対立をなくし、調和を強く求める現代のアンネ・フランク。

松林 直紀、6年2組。バラバラになった6年生の心をまとめようとする現代の坂本 龍馬。

2人は異性のほとんどに嫌われてしまっているが、味方となってくれる人も少なくない。

由希はそのような、より良い学年をつくろうとする人の中で、直紀が一番好きだった。

今では2人は両思いとなっていたが、事件が起きた。

「松林君、裏切ったわね！」

大泣きする由希と、無表情の直紀。誰もいない教室の片隅で、向かい合う2人。

「もう・・・嫌なんだ。こんなこと、これ以上したくない。」

そう。直紀は対立をなくそうとする志を絶ったのだ。女子を避けたのだ。

「ふざけないで！松林君なんか・・・松林君なんか、一生崩壊した学校にいればいいのよ！」

「でも、星野さんだっていじめられるのは嫌だろう？」

由希は教室から出て行こうとした。しかし、ドアの所で振り向いた。

「大嫌い！」

そう言い、教室から出て行った。その目からは、絶えず涙がこぼれ落ちていた。

この出来事が、その後の大きな問題になってしまった。

男子を避けないのがモットーの由希が、直紀を避けた。そのことがクラスで騒がれた。

「何で星野は松林を避けているんだ？」

「ラブラブだったんじゃないの？」

「アイツも今日から対立仲間になるのか？」

辛かった。一番頼りにしていた直紀が、もう仲間ではない。誰も、慰めてはくれない。

昼休みの時だった。

「星野さん。最近元気ないね。僕でよかったら、相談にのるよ。」
話し掛けてくれたのは、由希と同じクラス（1組）の中原 恭介だ。彼は男女の対立を防ごうとする人物の1人であり、女子からも好印象をうけている。

「うん。」

2人は図書室へ向かった。

「直紀が男子と女子の対立を防ごうとするのをやめたの。だから、喧嘩しちゃって。」

恭介は笑顔になった。それに気づかれぬよう、下を向いていた。

「そうなんだ。星野さんも大変だね。でも、僕はやめないよ。いつも味方にいるからね。」

それを聞いて、由希は少し笑顔を取り戻した。

「でも、松林君がいないと・・・なんか不安で・・・。」

再び襲い来る不安に弱る由希。1滴の涙が頬をつたった。

（私、やっぱり松林君が好き。）

自分の思い通りになったとばかりに、恭介は由希の手を握った。

「星野さんの不安がなくなるまで、僕が守るから。少し考えていてくれないかな？」

悲しいような、嬉しいような一言だった。直紀を捨て、安心できる場を創ろうとする一言だった。

今の由希は、物事をうまく処理できない。泣いているせいで、思考が停止している。

直紀と恭介、直紀のほうが好きだけれど、恭介のほうが安心できる。

「わかった。きっと松林君も、当分帰って来ないから。」

ちょうどその時にチャイムが鳴った。恭介は由希の肩を抱き、教室まで連れて行った。

「星野さん、もう泣かないで。笑顔のほうが素敵だよ。」

そう囁くと、恭介は廊下へ出て行った。偶然、廊下に直紀が居合わせた。窓から空を眺めている。

「松林君。」

意味有りげに話し掛ける恭介。

「僕の勝ちだ。今の星野さんは、僕のものだよ。全く、彼女を怒らせるなんてね。」

直紀の返事は、悲しみに飲み込まれていた。

「また・・・取り返すよ。」

その一言しか口から出なかった。

1番恐れられていたことが起きた。対立反対派の裏切りと、反対派内での争いが・・・。

END

（後書き）

初登場の『中原 恭介』のプロフィール！

・男女対立反対派の一員。

・冷静で頭が良く、スポーツも万能であるため、女子からは好印象をうけている。

・直紀をライバル視・・・？

とまあ、理想系（？）の恭介です。彼、今後の話に大きく関係しますよん！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4444a/>

2月17日～大嫌い！～

2010年10月17日05時09分発行